

児童福祉論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》片山 寛信 (看護福祉学部 katayama@hoku-iryu-u.ac.jp)

【概要】

子どもと家族の現状をふまえた上で、その課題やニーズに対する、児童福祉に関する制度や政策についての基本的な理解を得ることを目的とする。特に、子どもという存在の特性を理解した上で、児童福祉の理念と発展過程、児童福祉法と機関、児童福祉の実際況、子どもの貧困と人権問題の現状、児童福祉の課題について考える。

【学修目標】

1. 日本の児童福祉施策の概要と課題を説明できる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会的な状況について理解する。
3. 子どもの存在の特性と子どもの人権について説明できる。
4. さまざまな状況にある子どもの存在とそれに対する制度・政策、実践を理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

児童養護施設や障がい者(児)相談支援事業所における、ソーシャルワークの経験を生かした実践的教育を行なう。